

地域学習アシストとは？

- ◆ 山梨大学独自の取組として、令和元年度にスタートしました！
- ◆ 教育ボランティア活動の発展形としての性格をもっています！
- ◆ 学校の実情に応じ、より良い教育の実現を図ります！

【令和4年度 活動例】

- ✓ 大学生と大学教員が小学校のクラスに入り、担任の先生と方針を打合せたり、見とったことを報告したりしながら、大学生が個別支援の必要な子どもに対して学習支援を行いました。
- ✓ 毎回の活動後に、大学で、大学生、教職大学院生、大学教員が「チームカンファレンス」を行いました。子どもの行動の分析や、子どもへの関わり方について意見交換を行いながら次に活動する際の方針を考えました。

令和4年度 アシスト活動を終えての声

大学生

活動を行ったことで支援に入るタイミングや入り具合を見極める力、臨機応変に対応する力が付いた。実際に教育現場に立った時にもすくすく生かされるのではないかと感じた。

大学院生

教育実習や研究を行う上で、カンファレンスで話したことを参考にできた。特に学習に困り感のある児童の支援について話す機会が多く、そういった児童への接し方を改善することができた。

学校

アシストがいてくださったおかげで、担任が気付けなかった児童の悩みや課題などを知ることができ、対応の仕方や関わり方について考えられたことが大きな成果だった。

アシスト活動内でどうすれば良かったのかわからずモヤモヤした部分をカンファレンスで共有し、色々な立場の方からの意見やアドバイスがとても勉強になった。

児童との関わりや支援における自己の省察や児童の実態考察を行うとともに、教員や院生からカンファレンスを通してそれらに対する助言を受けることにより、確かな経験として本人の力量となっていたと感じた。

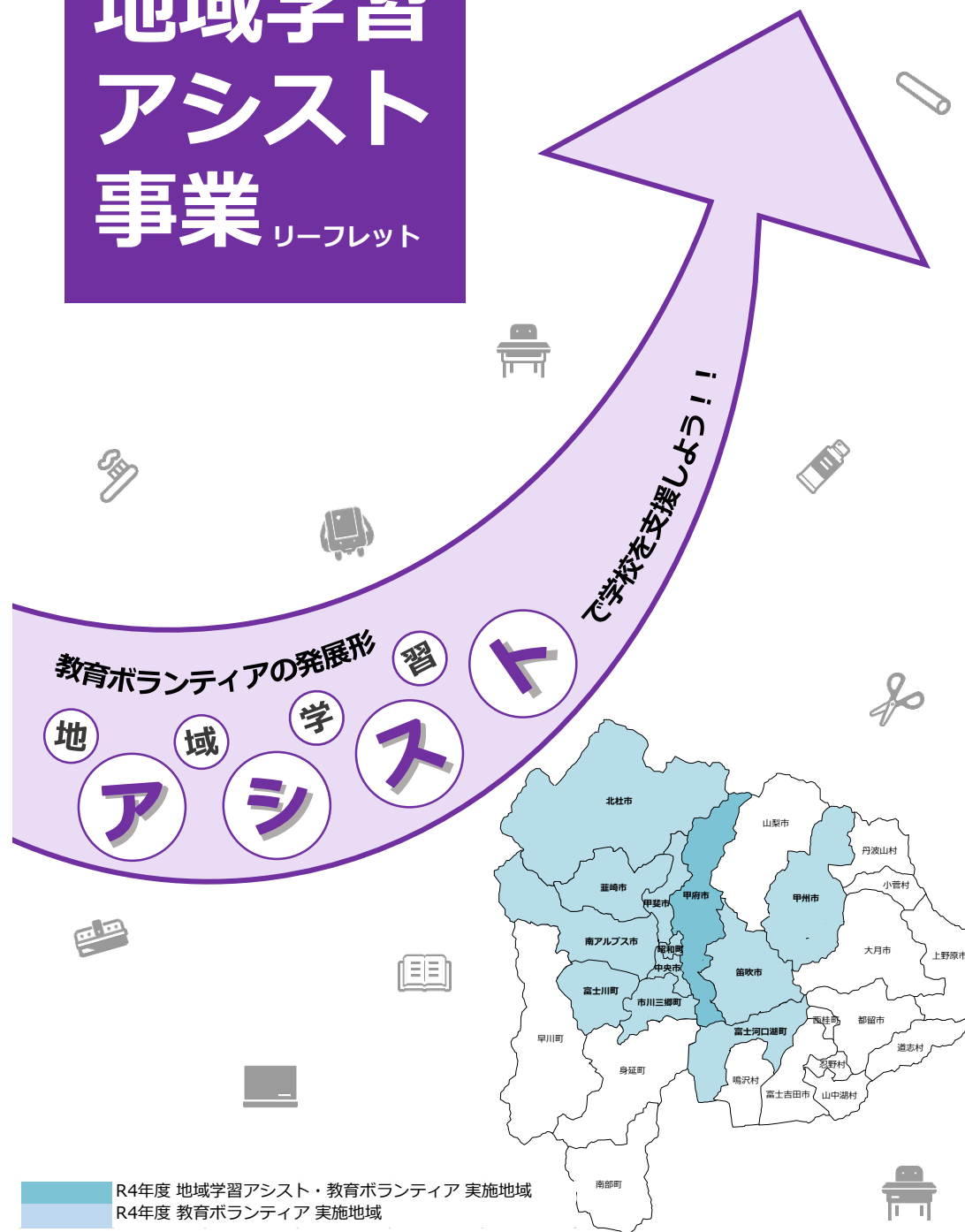
アシストが入ることで、担任としては、授業中での気付かなかった児童の様子を教えてもらったり、細かな支援に入っていたり、自分の指導を改めたりでき、自分自身の指導力向上にもつながった。

山梨大学教育学部附属教育実践総合センター 教職支援室

〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37
TEL.FAX : 055-220-8748
E-mail : edu-kys@yamanashi.ac.jp

地域学習 アシスト 事業

リーフレット



地域学習アシストで実践力を身に付けよう！

- 学校に応じた課題に取り組み、「チームカンファレンス」を通してその課題を解決することを目指します
- 教員採用時から長期にわたり活躍できるように、大学生が自分自身の目でクラスの中の課題を見つけ、課題解決に向けた取組を行うことで、実践力を育てることを目指します



アシスト活動を通して先生になるための実践力が身に付きました

アシストチームで チームカンファレンス



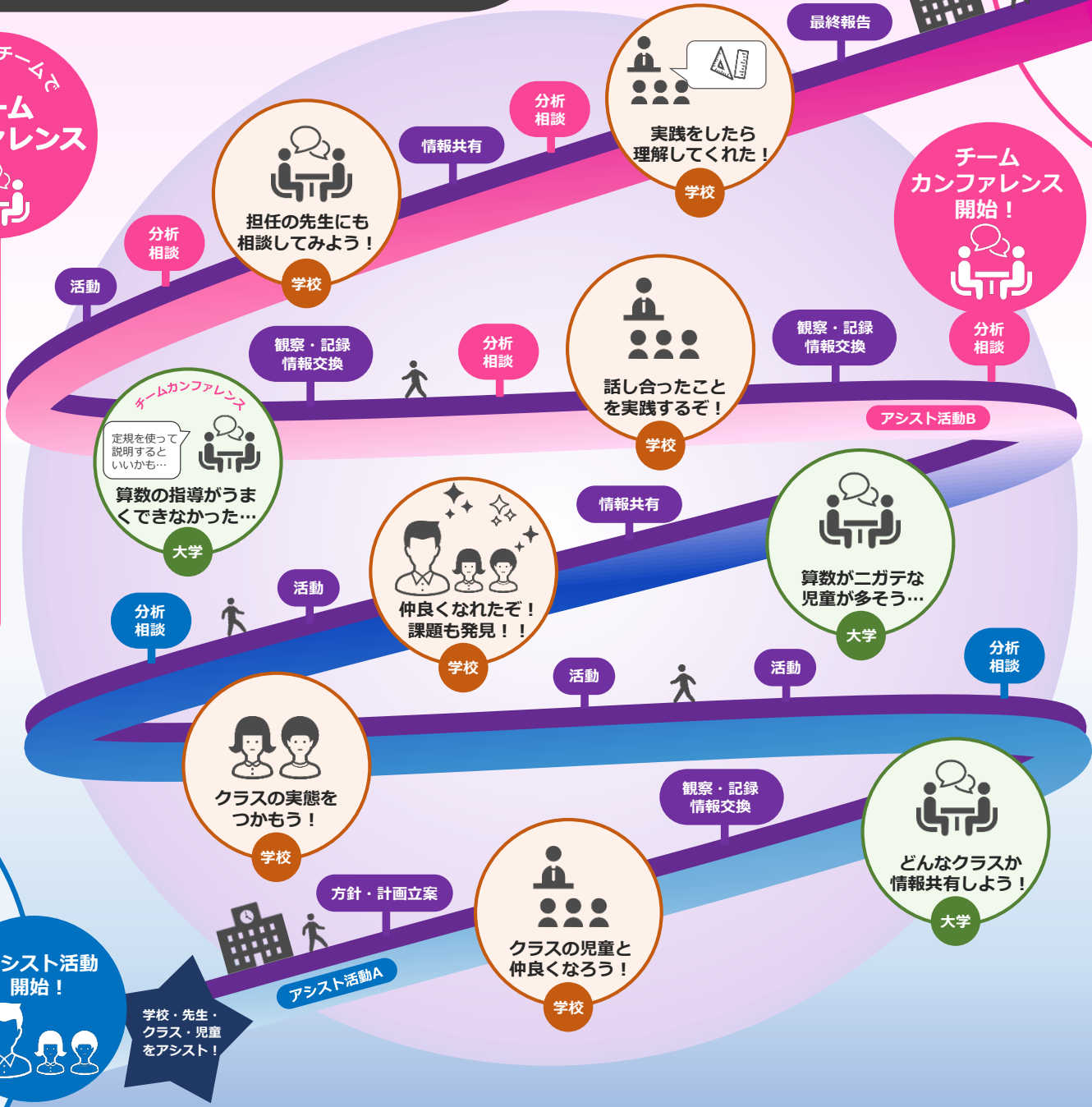
アシスト活動Bでは、

- 大学生・教職大学院生・特別支援教育特別専攻科生・大学教員等から構成されている「アシストチーム」を編成します
- 大学生が学校でアシスト活動を行った後に、その学校の課題解決に向けて、専門的な視点から分析・相談をするための「チームカンファレンス」を毎回行います

毎週同じクラスで児童の支援や課題解決に向けた取組を進めていきます

アシスト活動開始！

学校・先生・クラス・児童をアシスト！



アシスト活動B

11月～2月頃

- アシスト活動後に毎回アシストチームとチームカンファレンスを行います
- 学校の課題解決に向けた取組を行い、実践力を身に付けることを目指します

アシスト活動：計10回
チームカンファレンス：計11回

アシスト活動A

6月～10月頃

- 学習面や生活面等の支援を行いながらアシスト先のクラスの実態をつかみ、児童や先生たちと信頼関係を築くことを目的として活動します

アシスト活動：計11回
カンファレンス：5回